

今回、厚真町のボランティアに参加し、二ヶ所で演技をさせていただきました。演技では被災した方々に元氣と勇氣と笑顔を生懸命届けました。演技が終わってみなさんの顔を見ると笑顔で拍手をしてくれたり、泣いている方もいて私達の活動がみなさんの力になれた事と実感し、とても嬉しかったです。この経験を活かして今後の部活動に励んでいきたいと思えます。

チアリーディング部
白木ひなこ



今回、厚真町のボランティアに参加し、被災地の現状を見ることができました。ボランティアとして行った、災害ごみの集積場には、多くのごみが捨てられていて、中でも一人一人の思い出の品が捨てられていたのには、とても衝撃を受けました。活動終了後、その様子を新聞の記事にしました。実際に経験したことなどを写真も交えながら、制作しました。その新聞を多くの人たちに読んでもらえて、とても嬉しく思いました。最後に、少しでも「自然災害」に対して関心をもつてほしいことが、私の願いです。

新聞局 局長 信太 優希



ボランティア局 局長 森 楓香

今回、チア部と一緒に厚真町のボランティアに行きました。テレビで、被災地の映像を見ましたが、実際に見なければわからないことがたくさんありました。液状化現象で地面が盛り上がりつつあったり、土砂で流されたゴミを分別している所を直に見たことで悲惨な状況であることがよりわかりました。少しの時間でしたが、ボランティアができたことで、少しでも厚真町の励みになればいいなと思いました。



発行者
帯広北高等学校
PTA 広報部
www.obihirokita.ac.jp
広報部長 近藤 淳一
印刷所
ソーゴ印刷(株)

僕は、十月十六日に職業ガイダンスを受けました。受講したのは調理で、オムライスを作りました。最初は、先生が見本を見せてくれました。すぐに手際が良く、きれいに出来上がりとても美味しそうに感じました。僕が作ったオムライスは火が通り過ぎてしまい玉子が堅くなってしまいました。自分がとても良い経験ができたと思えます。



2E 小林 海斗

職業ガイダンス

私はコンピュータ関係のガイダンスに参加しました。VRゲームやボードゲームなどを体験しました。他にもこれから先のコンピュータ社会での職業の話など詳しい内容を話してくれました。私はコンピュータ関係の職業に興味があったので、将来の私の職業を探す上で参考になりました。とても有意義な時間を過ごすことができました。良い経験になりました。



1C 青山 凌也



芸能鑑賞

人間味が染みわたっていく弦巻楽団の演劇は大人になっても見たい作品だ。高校生で感じられることは限りがあるので、大人の経験を積んで他の劇団の作品を見ていける時間をぜひ作りたいたいと思う。

3A 倉井 健匠
弦巻楽団の「センチメンタル」。小説家の妻を早くに亡くした男の話。身近な人がいなくなる悲しみ、一人になった自分自身との葛藤やその男を取り巻く環境の変化が生々しく表現されていた。テレビや映画の画面で見ると違っていて、目の前で繰り広げられていく演劇独特の世界観に会場全体が飲み込まれていった。演劇という世界に触れる機会は滅多にないので、芸能鑑賞の回数をもっと増やして欲しい。

3月8日は卒業を祝う会

3月8日(金)19時からノースランド2階で「帯広北高等学校卒業を祝う会」が行われます。多数のご参加を心よりお待ちしております。

第68回 北海道高等学校PTA連合会大会 十勝大会

教頭 井尾 孝志

第68回北海道高等学校PTA連合会大会十勝大会が、6月16日・17日の2日間、全道各地から約1,200名が参加して開催され、本校はこの大会の幹事校の1つとして参加しました。初日はホテル日航ノースランド帯広を会場とし、各種表彰や講演会、2日目は帯広柏葉高校で分科会が行われ、本校PTAは2つの分科会の運営を担当し、活発な意見交換が行われました。山田PTA会長をはじめとしたPTA三役の方々にはこの大会への準備や運営にご協力いただきましたことに対し、心より御礼申し上げます。

救急救命講習

1B 斎藤 萌望
私は救急救命講習を受けて、心肺蘇生の重要性を知りました。一般の人がAEDや心肺蘇生をすることで救える命は結構あります。そのため心肺蘇生を行う勇氣を出すのは難しいと思います。DVDを観たことで講習を受けた人たちが全員が、命の重要性についても知られたと思います。DVDの感動も忘れずにいられたらいいと思います。

1D 上保 歩輝
私が今回の救急救命講習で一番重要だと思ったことは、いち早く応急手当をすることだと思いました。異変にすぐ気づき、応急手当をすることで命が助かる可能性が高くなります。見知らぬ人に応急手当をする事に抵抗を感じるかもしれませんが、一番大事なのは人命なので、もし現場に遭遇した場合に、冷静に対応できるようにしたいです。

60th



大合唱
7/14



文化祭
7/15



市中
パレード
7/15





栄光の軌跡

チアリーディング部

3D 山路 海那

今年のジャパンカップのチーム目標は日本一の完成度でした。目標を達成するために、練習では一人一人が発言と行動に責任と自覚を持つことが大切でした。しかし、自分達の思い通りにいかず悩むことや悔しくて泣いてしまっても何度も困難にぶつかる事もありました。が、全員が自分に勝ち、目標を達成するために努力し続けました。大会では、自分達の最大限の演技をすることは出来ませんでした



レスリング部

2E 岡部 翠成

福井で行われた国体に出場することが出来ました。今年で団体には二年連続で出場しましたが、昨年負けました悔しさをバネにし、今回は接戦の末勝つことが出来ました。ベスト8を懸けた戦いでは相手の力強さとポ



全国大会出場

が、多くの事を学び、とても貴重な体験でした。来年こそは日本一になります。今後も応援宜しくお願いします。

テンシヤルに圧倒され負けましたが、全国大会で勝つこともでき、大学からも少しづつ声をかけてもらえたのは嬉しいことでした。次は一月の予選と、三月の全国選抜に向け、日々の練習に励み、全国大会でメダルをとれるように頑張りたいです。応援よろしくお願いします。



全道大会出場



大活躍に感動!

校長 奥野 淳一

今年度も、高体連・高文連、さらには、各種協会・連盟が主催する大会等々で、北高生の活躍に目を見張るものがありました。伝統を引き継ぎ、成果を収めていることに、心からの賛辞を送りたいと思います。運動系の活躍に目を奪われがちですが、文化系でも、演劇・吹奏楽・箏・美術・書道・新聞局・図書局等々、幅広い分野での活躍が見られたのは見事です。ボランティア局がチアリーディング部・新聞局とコラボして震災の現地を訪れ、活動したことは、特筆すべきことかもしれません。今後の新メンバーでの活動にも、大いに期待を寄せ応援をしていきます。

ネットトラブル予防講演会

生徒指導部 斉藤 啓太

PTA指導部では、今年度、初の催しとしてネットトラブル予防講演会を開催いたしました。スマートフ

オンの普及により、SNSやインスタ、ネット上のトラブルが増えているのが実情です。今回は(株)LINEの認定講師柴田保文様にお越しいただき、SNSやインスタ、ネット上でのコミュニケーションのあり方についてレクチャーを受けました。便利なインターネット利用ができる生徒を育成できるような今後も継続的な指導を行っていきます。



2年生 炊事遠足



九月十九日、北愛国交流広場にて、炊事遠足が行われました。修学旅行の事前学習の一環として、集団行動訓練も兼ねています。(修学旅行の記事は次回たくさん紹介いたしますので乞うご期待!) 修学旅行の班でカレーを作りました。どの班も様々な材料でカレーを作っていました。カレー以外にもフルーツポンチを作ったところも。天気にも恵まれ充実した遠足になりました。

留学生 ジョーダン ジョンソン君



私は、北高校の生活によく慣れました。最初はお互いに慣れていない様子でしたが、私は皆と沢山接するようになりました。今では、皆と同じように学校を身近に感じています。ダンス同好会に参加することも、高校に通うことも慣れてきました。修学旅行に参加したことで、クラスメイトとの距離も縮まりました。子どもの頃アニメをたくさん観ました。このことで日本を知ることができました。また、どこか遠い国に行ってみたいと思っていました。日本に留学したいと思うようになり、ついに実現しました。初めて日本に来たのは、14歳の時で、2ヶ月間滞在しました。私の好きな本は「The Lord of the Rings」です。音楽はラップが好きです。アメリカの学校の様子を紹介します。学校には制服がありません。学校のトイレは汚いため、皆あまり使いたがりません。また、高校生の飲酒行為は問題になっています。アメリカでは先生が各教室に居り、生徒はそこに移動します。授業の合間の時間は5分しかありませんので、この時間以内に教室を移動せねばなりません。ランチタイムとティータイムの2つの休憩時間があります。授業の中には違う学年の生徒と受けるものもあり、学年は4年生まであります。携帯電話は学校で預かるということはありません。生徒は共通の時間割の中から、自分の受けたい授業を選択します。時間割は半年毎に変わります。沢山の民族が混在しているので、話し合いをする授業はほとんどありません。居眠りする人はあまりいません。また、成績によるクラス分けなどありません。自転車通学の生徒はほとんどいません。部活動は週に数回あります。学校に食堂があるため、弁当を持ってこない人もいます。高校生のほとんどは大学へ進学します。私は海外の大学に進学し、心理学を学びたいです。もっと旅行も行きたいです。将来は、第三世界の国々で働き、様々な人を援助したいです。さらには億万長者になりたいです。